

広報

心の通う福祉のまちづくり



社会福祉協議会だより

さつま町のふくし

No.53 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 令和2年4月発行

発行・編集 さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内) TEL 0996-52-1123 FAX 0996-52-1148



あさひこども園



盈進小学校



佐志小学校



山崎保育園



しびこども園



信教寺保育園



町民大会での表彰のようす

目次

- 表紙……………・エコキャップ回収協力の紹介, 町民大会での社会福祉事業功労賞表彰のようす
- 2 P……………・社会福祉事業功労賞表彰の紹介, 理事会・評議員会の報告, 人事異動について
- 3 P……………・令和2年度社会福祉法人さつま町社会福祉協議会 収支予算書
- 4 P～6 P……………・令和2年度社会福祉法人さつま町社会福祉協議会 事業一覧
- 7 P……………・ご近所福祉だより, 高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会
日赤会費のご協力のお願ひ, こころの元気カフェ・心配ごと相談・無料法律相談のお知らせ
- 8 P……………・エコキャップ回収協力のお礼, ボランティア活動保険の改正, ボランティア活動保険広告
- 9 P……………・香典返し・篤志寄付・備品貸し出しの紹介
- 10 P……………・緊急小口資金・総合支援資金の紹介, 令和元年度エコキャップ回収実績
さつま町社会福祉協議会ホームページQRコード紹介, 編集後記

【社会福祉事業功労賞表彰】

2月16日(日)に開催された、第15回さつま町民大会で、社会福祉事業功労賞の表彰も行われました。受賞おめでとうございます。

受賞者は次のとおりです。

(敬称略)

内村 正子 (白男川)

(従事年数9年)

民生委員・児童委員として、永年にわたり地域福祉の向上に貢献されている。

四位 稔 (求名)

(従事年数9年)

民生委員・児童委員として、永年にわたり地域福祉の向上に貢献されている。

【理事会の報告】

令和2年3月19日(木)

第3回理事会を開催し、報告第1号 平成31年度事業実施状況報告並びに監事監査報告について、報告第2号 専決処分承認について、議案第1号 令和2年度社会福祉法人さつま町社会福祉協議会事業計画について、議案第2号 令和2年度さつま町社会福祉協議会収支予算について、議案第3号 令和2年度短期借入金の承認について、議案第4号 さつま町社会福祉協議会評議員会選任解任委員の選任について、議案第5号 令和元年度第2回評議員会の開催について、すべて原案通り承認を受けました。

【評議員会の報告】

令和2年3月26日(木)

第2回評議員会を開催し、報告第1号 専決処分の承認について、議案第1号 令和2年度さつま町社会福祉協議会事業計画について、議案第2号 令和2年度さつま町社会福祉協議会収支予算について、すべて原案通り承認を受けました。

【職員の人事異動】

【退職】

(令和2年3月31日付)

【敬称略】

地域包括支援センター

センター長

橋ノ口 賢二

(雇用期間満了)

地域包括支援センター

副センター長

鶴森 久美

(町からの派遣満了)

総務係

林 裕子

(再雇用期間満了)

訪問給食サービス事業所

管理栄養士

本田 智子

(雇用期間満了)

訪問入浴・障害者訪問介護事業所

提供責任者

有川 和子

(雇用期間満了)

地域包括支援センター

事務

石橋 あゆみ

(町臨時職員終了)

【異動】

(令和2年4月1日付)

【敬称略】

訪問給食サービス事業所

管理栄養士

内村 郁代

訪問入浴・障害者訪問介護事業所

提供責任者(看護師)

松下 千恵子

地域包括支援センター

センター長

鍛冶屋 勇二

地域包括支援センター

副センター長

菅原 清香

地域包括支援センター

主査

福留 章乃

(町からの派遣)

地域包括支援センター

事務兼相談員(看護師)

菊野 絵梨

令和2年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 収支予算書

(単位：千円)

勘定科目（大区分）		合 計	社会福祉事業	公益事業	収益事業		
事業活動による収支	収	会費収入	4,359	4,359	0	0	
		寄付金収入	2,700	2,700	0	0	
		経常経費補助金収入	35,608	35,608	0	0	
		受託金収入	112,829	58,884	53,945	0	
		貸付事業収入	1,300	1,300	0	0	
		事業収入	4,203	2,730	973	500	
		負担金収入	32,250	32,250	0	0	
	入	介護保険事業収入	66,135	44,535	21,600	0	
		障害福祉サービス等事業収入	4,924	4,924	0	0	
		受取利息配当金収入	14	11	2	1	
		その他の収入	1,231	1,230	1	0	
		事業活動収入計	265,553	188,531	76,521	501	
		支	人件費支出	182,768	125,960	56,808	0
			事業費支出	32,624	26,801	5,352	471
事務費支出	39,044		25,899	13,135	10		
貸付事業支出	1,301		1,301	0	0		
共同募金配分金事業費	3,020		3,020	0	0		
助成金支出	3,450		3,450	0	0		
支払利息支出	15		15	0	0		
事業活動支出計	262,222		186,446	75,295	481		
事業活動資金収支差額	3,331		2,085	1,226	20		
施設	施設整備等活動収入計	0	0	0	0		
	施設整備等活動支出計	0	0	0	0		
	施設整備等活動資金収支差額	0	0	0	0		
その他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入	350	20	330	0	
		サービス区分間繰入金収入	1,891	1,891	0	0	
		その他の活動収入計	2,241	1,911	330	0	
	支出	積立資産支出	950	700	250	0	
		事業区分間繰入金支出	350	330	0	20	
		サービス区分間繰入金支出	1,891	1,891	0	0	
		その他の活動による支出	5,598	4,292	1,306	0	
		その他の活動支出計	8,789	7,213	1,556	20	
	その他の活動資金収支差額	-6,548	-5,302	-1,226	-20		
	予備費支出	1,000	1,000	0	0		
当期資金収支差額合計	-4,217	-4,217	0	0			
前期末支払資金残高	12,269	12,269	0	0			
当期末支払資金残高	8,052	8,052	0	0			

令和2年度 さつま町社会福祉協議会 事業一覧

事業名	内 容	備 考
1 法人運営		
① 心配ごと相談所	毎週木曜日 午前10時～正午	町委託
② 無料法律相談	毎月第3木曜日、13時30分～16時30分（予約制、1日6件）弁護士による無料法律相談	
③ 宮之城ひまわり館の管理運営	町民の福祉の拠点であると同時に、交流の場であることを広報し利用促進を図る。	町指定管理
④ 老人福祉センター「いぬまき荘」の管理運営	高齢者やふれあい・いきいきサロン等の利用啓発に努め、園芸教室、健康教室を月1回実施し、隣接する郷土文化伝習館及びふれあい広場の管理・運営、利用促進を図る。	町指定管理
⑤ 広報誌の発行	広報紙「さつま町社会福祉協議会だより」の発行を行う。（年4回、全戸配布）	
2 地域福祉事業		
① 生活支援体制整備事業	○社会資源開発 ○生活支援ネットワークの構築 ○ニーズと取り組みのマッチング	町委託
② 地域見守りネットワーク支援事業	○支え合いマップづくり ○支え合いネットワーク互助事業 ○見守りネットワークづくり ○ライフサポートアドバイザー事業	町委託
③ 福祉サービス利用支援事業	生活支援員により、判断能力が不十分な方の、福祉サービス利用の手続きの代行や、公共料金の支払い等の金銭管理、重要な書類の保管等を行い、安心して生活されるように支援する。	県社協委託
④ 生活福祉資金貸付事業	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	県社協委託
⑤ 法外援護資金貸付事業	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。5万円以内。	
⑥ 共同募金配分事業	90歳到達者記念品贈呈、無料法律相談、地区社会福祉協議会活動助成、社会福祉大会（町民大会）、ベンチ設置、ボランティア協力校活動支援等の事業を行う。歳末たすけあい事業も実施する。	
3 高齢者福祉事業		
① 高齢者ふれあい・いきいきサロン事業	お互いの安否確認や元気づけ・仲間づくりで、寝たきり・認知症予防等を行う。子育て世帯とも交流を図れるよう支援していく。（令和2年3月1日現在、75箇所）	町委託
② 福祉給食サービス事業	ひとり暮らしや、虚弱な高齢者等に食事を配食し、健康維持と安否確認、声かけを行う。 1食500円（昼、夕）年間60,000食予定	町委託

事業名	内 容	備 考
4 障がい者（児）福祉事業		
① 相談支援事業	相談支援専門員を配置し、障がいのある方々の相談・支援を行う。 (1) 相談支援事業（町委託） (2) 特定相談支援事業	
② 障害者訪問介護事業	障がいのある方々に訪問介護員を派遣し、身体介護や家事援助を行う。	
③ 障害者訪問入浴介護事業	障がいのある方々を対象に、移動入浴車を使用して自宅での入浴介助を行う。	町委託
④ 移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある方々に、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促す。	町委託
5 児童福祉・母子寡婦福祉事業		
① 母子寡婦福祉会への活動支援	母子寡婦福祉会への活動支援。	
② 児童等へのレスキュー事業推進	社会福祉法人連絡会との協働で行う。	
6 ボランティアセンター活動事業（町補助）		
① ボランティアセンター機能の充実	ボランティアセンター機能の充実を図る。	
② ボランティアコーディネーター活動の充実	ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動等の相談に応じる。	
③ 個人・団体ボランティアの育成・支援	個人ボランティア・団体ボランティアの育成、支援を行う。	
④ ボランティア連絡会	意見交換並びに研修会等を行う。	
⑤ ボランティア協力校の指定・支援	ボランティア協力校として指定し、ボランティア精神等、福祉教育の充実を図る。	
⑥ ボランティア養成講座	町民へのボランティアの普及・啓発を図り、同時に地域でのボランティア活動のリーダーを養成する。	
⑦ 福祉ボランティア体験学習	中学生、高校生等が夏休みを利用し、町内の福祉施設で福祉ボランティアの体験学習を行い、福祉に対する精神を養う。	
7 介護保険事業		
① 居宅介護支援事業	要介護認定等を受けられた方々に対し、介護支援専門員による居宅介護サービスの計画書の作成・管理により、在宅生活の支援を行う。	
② 訪問介護事業	要介護認定等を受けられた方々に対し、訪問介護員を派遣し、身体介護及び家事援助等を行う。	
③ 訪問入浴介護事業	要介護認定等を受けられた方々に対し、移動入浴車を使用して自宅での入浴介助を行う。	

事業名	内 容	備 考
8 権利擁護センター設置及び推進（町委託）	判断能力が十分でない高齢者や障がい者並びにその家族等に対して、成年後見制度をはじめとする制度等の紹介や利用の支援，意思決定支援などの業務を行い，福祉サービス利用支援事業と連携を保ちながら権利擁護の推進を図る。さつま町と連携し，法人後見受任に向けた準備も進める。	
9 一般乗用旅客自動車運送事業（福祉タクシー）	予約制により，対象者の医療機関等への送迎を行う。（福祉輸送限定）	
10 地域包括支援センター事業（町委託）	高齢者等の総合相談対応や，介護予防支援事業，認知症施策等を行う。	
11 生活困窮者自立支援事業（さつまぐらし・しごとサポートセンター）（県委託）	自立相談支援を中心に，就業の確保や，家計，子どもの学習支援等について，相談・支援を行う。	
12 収益事業（介護用品販売事業）	紙おむつ等の介護用品の販売を行う。	
13 その他		
①無料職業紹介所	生活困窮者を限定に無料で職業の紹介・あっせん等を行う。	
②地区社会福祉協議会活動支援	20地区の地区社会福祉協議会の活動支援を行い，地域住民の自主的・主体的福祉活動を推進する。	
③共同募金委員会事業の推進	募金運動期間（10月～共同募金運動，12月～歳末たすけあい運動）	
④日本赤十字社鹿児島県支部さつま町分区の運営	さつま町分区として会費募集や，災害救援等の赤十字事業を行う。	
⑤苦情解決に関する第三者委員会の開催	第三者委員会による，福祉サービスを利用される方からの相談や苦情解決を行う。	
⑥飲料水自動販売機設置	町内の公共施設等に自動販売機を設置している。	
⑦車いすの貸し出し	外出等，車いすが必要な方に無料で車いすを貸し出す。（概ね1ヶ月以内）21台保有。	
⑧北薩地区社会福祉協議会連絡協議会	災害時相互応援協定により，災害ボラティアセンター設置訓練並びに総会等へ参加するとともに，情報交換を行う。	
⑨総合的学習の時間への協力	町内各学校へ講師として職員を派遣し，福祉関係の講話等を行い福祉教育の推進を図る。	
⑩こどもイキイキ地域つながりプロジェクト事業への協力	県社協と協働で夏及び冬に町内の子どもに対するイベントを実施する。	
⑪かごしまシニア人材育成活用事業	地域のシニア人材を育成することを目的とする事業（県社協主催）への協力を行う。	
⑫さつま町社会福祉法人連絡会事務局	町内14の社会福祉法人が相互に情報交換を行い地域の課題やニーズを把握して，連携と協働により社会貢献事業に取り組む。	

角郷公民会では、地域の見守り活動を福祉部を中心に行っているとのことで、今年度の見守り活動実績の話し合いと併せて、マップの見直しが行われました。

角郷公民会

今年度もマップの見直しが全公民会合同で開催されました。昨年度立てた目標について、公民会ごとに達成できたかどうか話し合い、会の最後にお互い発表を行いました。



山崎区

支え合いマップ（以下、マップ）づくりに取り組んでくださっている地域の紹介です。

近所福祉だより



角郷公民会

さつま町社会福祉協議会では支え合いマップづくりの支援を行っております。お気軽にご相談ください。

高齢者ふれあい・いきいきサロン

平成31年度高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会を、令和2年2月12日に開催いたしました。令和2年度の計画作成に向けて関係各課からさまざまな説明がなされ、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていらつしやいました。



高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会

今年度も、5月を赤十字運動月間として、日本赤十字社会費へのご協力をお願い致します。

赤十字社会費は、災害時の救援物資支援活動、献血事業、海外協力事業等、幅広い事業に役立てられます。ご理解の上、ご協力をよろしくお願ひします。



【日本赤十字社会費への
ご協力のお願ひ】

【こころの元気カフェ】

※事前に予約が必要です。

電話…(代) 52-2443

相談員…かごしまメンタルパートナー相談員

場所…宮之城ひまわり館 相談室

日時…毎月 第1木曜日
13時30分～16時
(1人最大1時間まで)

【心配ごと相談】

※予約は必要ありません。

相談員…さつまくらし・しごとサポートセンター職員

場所…宮之城ひまわり館 相談室

日時…毎週木曜日 10時～12時

【無料法律相談】

※事前に予約が必要です。

電話…(代) 52-1123

相談員…弁護士

場所…宮之城ひまわり館 相談室

日時…毎月 第3木曜日
13時30分～16時30分

※お気軽にご相談ください。

さつま町女性団体連絡協議会から、回収されたたくさんのエコキャップをいただきました。

さつま町女性大会でエコキャップの持ち寄りを呼びかけられ、「想像以上にたくさん集まった」と喜んでいらっしやいました。

またこの他にも、さつま町内の学校・保育園等や個人からも、たくさんのご協力をいただきました。

ご協力ありがとうございました。



「エコキャップ回収協力のお礼」

ボランティア活動保険の改正

令和2年度から

基本プラン 保険料350円

天災・地震補償プラン 保険料500円

補償額は、基本プラン、天災・地震補償プランともに同じです。

これまでの、基本プラン、天災・地震補償プランのA・Bプランが、1本化されました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
こちら
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損害保険ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になりました。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

皆様の善意に感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方よりいただきました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

(令和2年1月1日)

令和2年3月31日受付分)

香典返し寄付

98万5千円 89件

寄付者名

《敬称略》

(町内は大字、町外は住所地)

Table of donors and amounts, including names like 中園 タミ, 平野 笑美子, 白石 力子, etc.

Table of recipients and amounts, including names like 東 正弘, 中村 敏子, 平城 透, etc.

Table of recipients and amounts, including names like 小西 里美, 小野原澄江, 長谷川啓子, etc.

匿名希望 1 件

篤志寄付

2 件 6千円

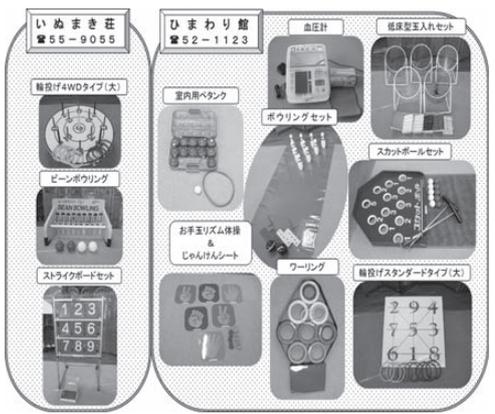
寄付者名 《敬称略》

- ・シルバー園芸教室
・さつま町更生保護女性会
(バザー益金)

【備品をご利用ください】

- (車いす・レクリエーション用具・高齢者擬似体験セット 等)

さつま町社会福祉協議会では、さつま町内在住の方を対象に、車いすや、レクリエーション用具を貸し出して... 電話 52-1123



新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金でお悩みの皆さまへ

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

各都道府県社会福祉協議会では、低所得世帯等の方々に対して、生活費等の必要な資金の貸付けを行う生活福祉資金貸付制度を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みのの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施します。

特例貸付の具体的な内容のお問合せや貸付のご相談は、さつま町社会福祉協議会までご連絡ください。

社会福祉法人さつま町社会福祉協議会（宮之城ひまわり館）電話：0996-52-1123

所在地：さつま町宮之城屋地2117-1

貸付手続きの流れ



緊急小口資金（休業された方）貸付額：10万～20万円，1年据置，2年以内償還，無利子・保証人不要

総合支援資金（失業された方）貸付額：月15～20万円の3か月以内，1年据置，10年以内償還，無利子・保証人不要

令和元年度エコキャップ回収実績

- ☆回収個数・・・429,475個
- ☆重さ・・・・・・998.78kg
- ☆ポリオワケチン・・・499.4人分
- ※2kg＝約20円で1人分の計算
- ～ご協力ありがとうございました～

さつま町社会福祉協議会のホームページを是非、ご覧ください。



編集後記

麗春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。桜の花も散り、春の陽気となってきました。が、全世界はコロナウイルスの脅威に襲われています。学校の休校や、緊急事態宣言など、これまで体験したことのないことが続き、日々、戸惑い・不安の連続です。

さて、広報誌第53号を発行いたしました。発行にご協力くださいました方々に、感謝申し上げます。さつま町社会福祉協議会は、安心して暮らせる町づくりの為に、地域福祉の推進を図って参ります。

今後とも、町民の皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

コロナウイルスの状況は、依然として予断を許さない状況ですが、体調管理には充分ご注意ください。上お過ごしください。

この広報誌の発行には、赤い羽根共同募金が使われています。

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会